(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

令和6年5月27日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都墨田区太平4-1-3

氏 名 東京不動産管理株式会社

代表取締役社長執行役員 福井弘人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5637-2550

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京不動産管理株式会社 技術本部東京都内(八王子市を除く)各 工事現場
事業場の所在地	東京都内(八王子市を除く)各所
計画期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行	デっている事業に関する事項
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	前年完成工事高 70億円
③従 業 員 数	社員(工事担当者) 71名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	<b>芝廃棄物の処理に係る</b> 筍	管理体制に関する	事項			
	(管理体制図) 別添2 管理体制図の		<u> </u>			
在当	┃ 陰廃棄物の排出の抑制↓					
产才	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	【前年度(令和5	 ( 年度)	実績】		
		産業廃棄物の		廃油	廃アルカリ	
		排出	量	1.71 t	4. 79 t	
		(これまでに実			4.79	
	①現状	・ゼロエミッショ	ョン活動を	を全現場に展開し、職	遺、協力業者、作業員 月に努め、建設廃棄物	
		最終処分量の減量			川に分め、全政ル来物	
		【目標】	der Vere			
		産業廃棄物の		廃油	廃アルカリ	
		産業廃棄物の 排 出	量	1.54 t	廃アルカリ 4.31 t	
	②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建詞	量 予定の取 没廃棄物の	1.54 t 組) の概算発生量を把握し	4.31 t 、作業方法、資材等の	
	②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建ま 見直しで排出抑制	量 予定の取 投廃棄物の 制に取り約	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協	4. 31 t	
	②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建詞	量 予定の取 投廃棄物の 制に取り約	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協	4.31 t 、作業方法、資材等の	
	②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建ま 見直しで排出抑制	量 予定の取 投廃棄物の 制に取り約	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協	4.31 t 、作業方法、資材等の	
	②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建ま 見直しで排出抑制	量 予定の取 投廃棄物の 制に取り約	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協	4.31 t 、作業方法、資材等の	
産業	②計画 ②計画	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建ま 見直しで排出抑制の の勉強会・啓蒙》	量 予定の取 投廃棄物の 制に取り約	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協	4.31 t 、作業方法、資材等の	
産業		産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建 見直しで排出抑制の勉強会・啓蒙?) る事項 (分別している	量 予定の取 投廃棄物の 制に取りが 舌動を行っ	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協っていく	4.31 t 、作業方法、資材等の 方力業者へ定期的に産廃 関する取組)	
産業		産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建請 見直しで排出抑制の勉強会・啓蒙注 の勉強会・啓蒙注 の対対リートくず、がれ ず・紙くず・木。	量 予定乗物の 設に乗りが 活動を行っ 産業類、繊維	1.54 t (組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協っていく (物の種類及び分別に関 がラス陶磁器くず、廃 がラス陶磁器くず、廃	4.31 t 、作業方法、資材等の 力業者へ定期的に産廃	
産業	<b>芝廃棄物の分別に関する</b>	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着手前に建ま 見直しで排出抑制の勉強会・啓蒙》 る事項 (分別しているコンクリートくず、があ	量 予定乗物の 設に乗りが 活動を行っ 産業類、繊維	1.54 t (組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協っていく (物の種類及び分別に関 がラス陶磁器くず、廃 がラス陶磁器くず、廃	4.31 t 、作業方法、資材等の 力業者へ定期的に産廃 関する取組) ジプラスチック・金属く	
産業	<b>芝廃棄物の分別に関する</b>	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着で排出を 見直している の勉強会・啓蒙注 の勉強会・啓蒙注 では、ではずいでは、では では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	量の取りによる。 一量でである。 一型でである。 一定である。 一定である。 一定である。 一定である。 一定である。 一定できる。  「できる。 「できる。 「できる。  「できる。 「できる	1.54 t 組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協っていく  物の種類及び分別に関サラス陶磁器くず、廃 継くず・廃蛍光ランフ を実施 業廃棄物の種類及び	4.31 t  、作業方法、資材等の 力業者へ定期的に産廃  関する取組) プラスチック・金属く 類・石綿含有廃棄物・ 分別に関する取組)	
産業	<b>芝廃棄物の分別に関する</b>	産業廃棄物の 排 出 (今後実施する 工事着で排出を 見直している の勉強会・啓蒙注 の勉強会・啓蒙注 では、ではずいでは、では では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	量の取りによる。 一量でである。 一型でである。 一定である。 一定である。 一定である。 一定である。 一定である。 一定できる。  「できる。 「できる。 「できる。  「できる。 「できる	1.54 t (組) の概算発生量を把握し 組む。現場担当者・協っていく  ***********************************	4.31 t  、作業方法、資材等の 力業者へ定期的に産廃  関する取組) プラスチック・金属く 類・石綿含有廃棄物・ 分別に関する取組)	

選集物の 出	種類 ——— 量	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート
出	量	l			
		136.51 t	294.60 t	452.30 t	56. 68
軽乗物の	種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート
出	量	122.86 t	265.14 t	407.07 t	51. 01
		逐棄物の種類 出 量			

	廃棄物の  出	) 性類 ———— 量	レンガ破片など 118.11 t	石綿含有産業廃棄物 22.53 t	紙くず 46.08 t	木くず 
			110.11	22.00	10.00	02.00
【目標】						
	廃棄物の	)種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
		)種類 量	レンガ破片など 106.30 t	石綿含有産業廃棄物 20.28 t	紙くず 41.47 t	木くず 56. 69
産業	廃棄物の					

産業	廃棄物の	種類	繊維くす	2	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
排	出	量	0. (	)6 t	559.83 t	106. 04 t	1.0
【目標】							
	廃棄物の	種類	繊維くす	2	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
		·種類 量	繊維くす 0.0	-	建設混合廃棄物 503.85 t	廃蛍光ランプ類 95.44 t	廃電池類
産業	廃棄物の			-			

自身	5行う産業廃棄物の再生	<b>上利用に関する事項</b>					
		【前年度(令和5 年度)	実績】				
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ			
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t			
	<b>少先</b> 从	(これまでに実施した耳	<b></b>				
		【目標】					
			廃油	廃アルカリ			
		産業廃棄物の種類	<i>)</i> 発 (4)	焼 / /レ 刈 リ			
		自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	- t	- t			
	②計画	(今後実施する予定の国	<b></b> 放組)				
占入	      う行う産業廃棄物の中間	目加畑に関わて東西					
	0117座未廃来物の中間	『前年度(令和5 年度)	宝結】				
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ			
		自ら熱回収を行った	Æίμ	9E / / P / V			
		産業廃棄物の量	- t	- t			
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t			
		(これまでに実施した取組)					
		産業廃棄物の種類	廃油	 廃アルカリ			
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t			
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t			
		(今後実施する予定の国	<b>反組)</b>				

# 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

### 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

L					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

### 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

# 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

### 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

### 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

# 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

### 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

### 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類	
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	

### 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類	
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t	
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	

- > X- > NIX I	(第4面)		
りてり産業廃棄物	勿の埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項	
	【前年度(令和5 年度)実	績】	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組	.)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
<b>産業廃棄物の処理の</b>	)委託に関する事項		
	【前年度(令和5 年度)実	績】	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	産業廃棄物の種類 全処理委託量	廃油 1.71 t	廃アルカリ 4.79 t
	全 処 理 委 託 量	1.71 t	4. 79 t
①現状	全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への	1.71 t 1.71 t	4. 79 t
①現状	全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者	1.71 t  1.71 t  - t	4. 79 1 4. 79 1

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t	

### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック類 金属くず		ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	
全	之処理委託量	136. 51	t	294. 60	t	452.30 t	56.68 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	122. 26	t	292. 34	t	341.40 t	8.88 t
	再生利用業者への 処理委託量	I	t	ı	t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	I	t	-	t	- t	- t
	忍定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	-	t	- t	- t

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

### 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物	の種類	レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物		紙くず		木くず		
自ら埋立処 海洋投入処分 産 業 廃 棄	を行う	-	t	-	t	-	t		-	t

### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

### 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類		レンガ破片など	,	石綿含有産業廃棄	物	紙くず	木くず
全	. 処理委託量	118. 11	t	22. 53	t	46.08 t	62. 99 t
,	優良認定処理業者 への処理委託量	105. 53	t	9. 12	t	46.08 t	52.15 t
	再生利用業者への 処理委託量	ı	t	-	t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	I	t	-	t	- t	- t
	忍定熱回収業者以外 )熱回収を行う業者 への処理委託量		t	-	t	- t	- t

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

# 【前年度(令和5 年度)実績】

産業廃棄物の種類		繊維くず		建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
3	全処理委託量	0.06	t	559.83 t	106.04 t	1.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.06	t	539.14 t	106.04 t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	ı	t	- t	- t	1.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	I	t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	- t	- t	- t

(第5面)

	(第6周	<u>′</u>				
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ			
	全処理委託量	1.54 t	4.31 t			
	優良認定処理業者 への処理委託量	1.54 t	4.31 t			
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t			
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t			
②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t			
	(今後実施する予定の取 現状と変わらない取り組み					
※事務処理欄						

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	122.86 t	265. 14 t	407.07 t	51.01 t
優良認定処理業者 への処理委託量	110.03 t	263.11 t	307. 26 t	7.99 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

【目標】						
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず		
全処理委託量	106.30 t	20.28 t	41.47 t	56.69 t		
優良認定処理業者 への処理委託量	94.98 t	8.21 t	41.47 t	46.94 t		
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t		
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t		
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t		

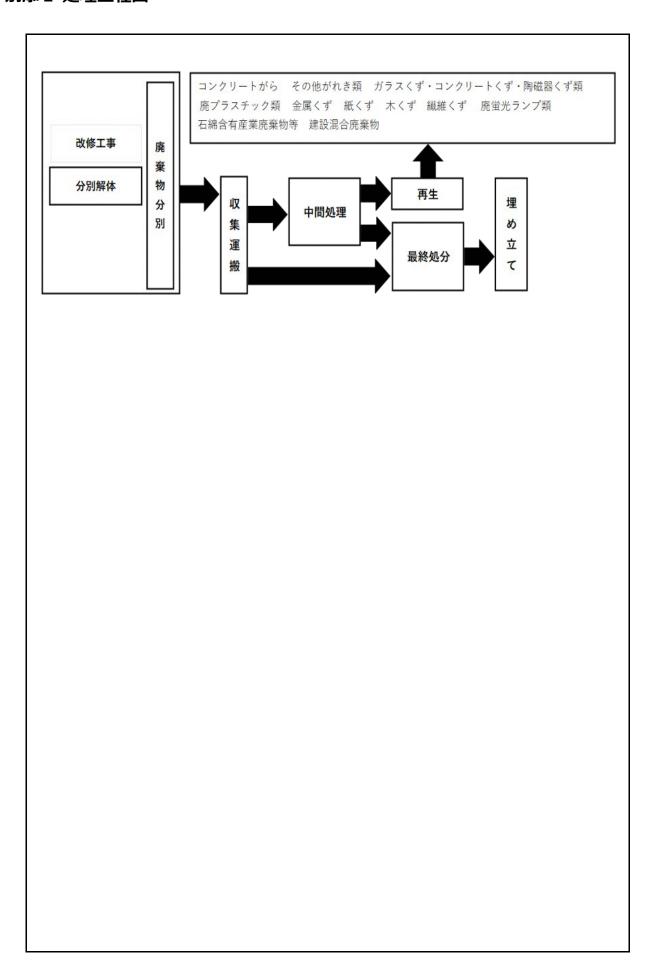
(第5面)-4

【目標】						
産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
全処理委託量	0.05 t	503.85 t	95.44 t	0.90 t		
優良認定処理業者 への処理委託量	0.05 t	485. 23 t	95.44 t	- t		
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	0.90 t		
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t		
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t		

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

### 別添1 処理工程図



### 別添2 管理体制図

